

第2回 栃木市・岩舟町合併協議会 会 議 録

平成23年7月7日（木）午前10時00分
岩舟町健康福祉センター「遊楽々館」検診室

栃木市・岩舟町合併協議会

会 議 録

会 議 の 名 称	第 2 回 栃 木 市 ・ 岩 舟 町 合 併 協 議 会	
開 催 日 時	平成 2 3 年 7 月 7 日 (木) 1 0 時 0 0 分 開 会 ・ 1 1 時 2 7 分 閉 会	
開 催 場 所	岩 舟 町 健 康 福 祉 セ ン タ ー 「 遊 楽 ヴ ェ ー ム 」 検 診 室	
議 長 氏 名	鈴 木 俊 美	
出 席 者 及 び 欠 席 者 氏 名	別 紙 1 の と お り	
事 務 局 氏 名	別 紙 1 の と お り	
会 議 事 項	1 議 題 別 紙 2 「 会 議 事 項 」 の と お り	2 会 議 結 果 ・ 審 議 事 項 議 案 第 5 号 取 り 下 げ 議 案 第 6 号 原 案 の と お り 承 認 ・ 協 議 事 項 協 議 第 2 号 か ら 第 5 号 ま で 取 り 下 げ
会 議 の 経 過 (議 事 の 要 旨)	別 紙 3 の と お り	
会 議 資 料	第 2 回 栃 木 市 ・ 岩 舟 町 合 併 協 議 会 会 議 資 料	
そ の 他 の 事 項		
会 議 録 の 確 定		
確 定 年 月 日	記 名 押 印	
平成 2 3 年 8 月 1 7 日	委員 ____ 松 本 喜 一 ____ (印) 委員 ____ 恩 田 孝 子 ____ (印)	

別紙 1 出席者及び事務局

出席者（委員）

会 長	鈴木 俊美	副会長	茂呂 幸司
委 員	山本 元久	委 員	新井 博
委 員	大川 秀子	委 員	松本 喜一
委 員	広瀬 昌子	委 員	渡邊 正治
委 員	高岩 義祐	委 員	梅澤 米満
委 員	戸谷 勝次	委 員	渡邊 仁一
委 員	赤堀 明弘	委 員	若林 秀夫
委 員	岩下 邦夫	委 員	臼井 浪之助
委 員	大島 常子	委 員	柴田 保男
委 員	小倉 久緒	委 員	石川 守久
委 員	大島 治	委 員	恩田 孝子
委 員	安藤 宣好		

出席者（規約第 10 条第 4 項に基づく関係職員等）

植木 恵二（栃木県総合政策部次長兼市町村課長）

出席者（監査委員）

石川 伸治

欠席者（監査委員）

板倉 安秀

欠席者（規約第 10 条第 4 項に基づく関係職員等）

中村 祐司（宇都宮大学国際学部大学院国際学研究科教授）

出席者（幹事）

幹 事 赤羽根正夫（栃木市総合政策部長）

幹 事 尾上 光男（栃木市総務部長）

幹 事 熊倉 正志（岩舟町企画課長）

幹 事 船田 文雄（岩舟町総務課長）

出席者（事務局）

小保方昭洋（事務局長）

飯島 正則（総務計画チームリーダー）

江面健太郎（総務計画班）

深津 勝（総務計画班）

上岡 誠志（総務計画班）

鈴木 健司（事務事業一元化チームリーダー）

栗原 健（事務調整班）

別紙 2 会議事項

1 開 会

2 会長・副会長挨拶

3 議 事

(1) 審議事項

議案第 5 号 合併協議スケジュールについて【取り下げ】

議案第 6 号 栃木市・岩舟町合併協議会の延期について

(2) 協議事項

協議第 2 号 合併の方式について【取り下げ】

協議第 3 号 合併の期日について【取り下げ】

協議第 4 号 新市の名称について【取り下げ】

協議第 5 号 新市の事務所の位置について【取り下げ】

4 第 3 回栃木市・岩舟町合併協議会の開催日時について【省 略】

5 その他

6 閉 会

(会議の経過)

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
◎ 小 保 方 事 務 局 長	1. 開 会 定刻となりましたので、ただいまから第2回栃木市・岩舟町合併協議会を開催いたします。私は、本日の司会進行を務めさせていただきます、合併協議会事務局の小保方でございます。よろしくお願いします。 冒頭、会議運営等に関しましてご報告させていただきます。 まず、合併協議会委員の交代でございます。栃木市議会副議長の交代に伴いまして、新たに松本副議長に委員としてご出席いただいております。松本委員、よろしくお願いいたします。
◎ 松本委員	皆さん、松本です。よろしくお願いします。
◎ 小 保 方 事 務 局 長	次に、合併協議会につきましては、規約第10条第1項の規程によりまして、委員の2分の1以上の出席を持って会議を開催することとなっております。本日の出席委員は22名で、定足数に達しておりますことをご報告いたします。なお、オブザーバーの中村先生は所用により欠席との連絡をいただいております。 次に、会議録署名委員2名をご指名させていただきたいと存じます。本日の署名委員は、栃木市の松本委員と岩舟町の恩田委員にお願いいたします。よろしくお願いいたします。
◎ 鈴木会長	2. 会長・副会長あいさつ それでは、次第の2「会長・副会長あいさつ」に入ります。 はじめに、会長であります鈴木市長からごあいさつを申し上げます。 皆様おはようございます。今日は朝からご参集を賜りまして大変ありがとうございます。お世話になりますが、よろしくお願いを申し上げます。 今日は2回目の合併協議会ということでございますが、皆様も会場にお入りになる際に外の方でずいぶん皆さんが元気に皆さんをお迎えをされたと思います。私もそうでした。しかし、この会場においてはぜひとも冷静に皆様のご発言等いただきながら協議会を進めて参りたいと考えておりますので、

	本日も何卒よろしくお願いを申しあげまして、冒頭のご挨拶とさせていただきます。本日は大変お疲れ様でございます。よろしくどうぞお願いいたします。
◎ 小 保 方 事 務 局 長	ありがとうございました。 続きまして、副会長であります茂呂町長からごあいさつをいただきます。よろしくお願いいたします。
◎ 茂 呂 副 会 長	皆様おはようございます。合併協委員の皆様には、公私ともお忙しい中、第２回の栃木市・岩舟町合併協議会に参加をいただきまして本当にありがとうございます。第２回というようなことであります。皆様のご意見等いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
◎ 小 保 方 事 務 局 長	３．議 事 ありがとうございました。 次に、次第の３議事に移るわけでございますが、委員の皆様にお願いがございます。会議中にご発言いただく際には、職員がマイクをお持ちいたしますので、マイクを通してのご発言をお願いするとともに、最初に市町名とお名前をおっしゃっていただいてから、ご発言願いたいと思います。 それでは、次第の３議事に移ります。 会議の議長につきましては、規約第１０条第２項の規程によりまして、会長があたることとされておりますので、鈴木会長、よろしくお願いいたします。
◎ 鈴 木 会 長	はい。それでは議事に入らせていただくわけであります。 本来であれば審議事項に入っていくところでございますが、本日は茂呂副会長のほうから皆様をお願いをしたいことがあるということを前に申し入れていただいておりますので、まず副会長のほうから皆様をお願いのことにつきましてご発言を願いたいと思いますので、よろしくお聞き取りを願いたいと思います。
◎ 茂 呂 副 会 長	はい。ただいま会長から大変なお計らいをしていただきまして、貴重な時間でありまして、時間をいただきました。本当にありがとうございます。この席で、合併協の副会長及び岩舟町長

という立場の中で、今現在の岩舟町の合併に対する住民の方の
いろんな思いの中で私から、この会議の中で皆様にご提案、ご
提言そしてお話しを聞いていただきたいということの思いがあ
りまして、そのことを会長にお諮りをしたということでござい
ます。許可をいただきましたので、私のほうから合併に対する
思いということで述べさせていただきます。

岩舟町では、現在２つの合併協議会が併存するというある種
異常な状態の中、合併協議を進めております。第２回合併協議
会に際しまして、時間をいただきまして私が考えます岩舟町の
今後の合併協議の進め方についてお話をさせていただきたい、
そのようなことであります。委員の皆様にはですね、ご理解、
ご協力をお願いしたいと、そう賜りたいと思います。よろしく
お願いいたします。

岩舟町の合併問題につきましては、皆様ご承知の通りでござ
います。直近の民意というようなことの中で、１月２３日に実
施されました、栃木市を合併対象市町村とする合併協議会設置
協議の住民投票において示されました、栃木市との合併協議会
設置の選択であります。住民投票は直接民主主義が間接民主主
義に優越するまれな事例であり、栃木市、岩舟町は住民投票の
結果を重く受け止め、市町村の合併の特例に関する法律に基づ
き、４月８日に栃木市との合併協議会を設置し本日第２回の合
併協議会の運びとなりました。

一方、岩舟町ではですね、平成１９年１１月第２次栃木県市
町村合併推進構想が公表されて以降、合併アンケート調査、岩
舟町の合併についての意思を問う住民投票、そして町長の解職
投票及び町長選挙など合併の相手先を焦点とした多くの民意の
確認をして参りました。その結果、全てにおいて佐野市が選択
されその民意に基づき平成２１年２月から佐野市・岩舟町合併
協議会は協議を始め、現在新市基本計画を除く、全ての協定項
目の協議を終了しております。岩舟町にとってはこちらの民意
も先の住民投票同様、重要度は高いものと考えております。

今申し上げましたように、現在岩舟町には２つの合併協議会
が併存しております。このままいつまでも栃木市、及び佐野市
との合併協議会を平行して進めることは、栃木市、佐野市、の
みならず岩舟町民に対しても合併に対する不安感や不信感を抱
かせる懸念があります。また岩舟町では最終的にいずれか一方
の市を選択せねばならず、他方の市には協議に費やす時間や経

費など多大な犠牲を強いることにもなります。私はこれらのことを考慮した結果、合併協議会の長期の併存は適切ではないと考えました。

それでは、岩舟町の今後の合併協議の進め方について私の考え方を申し上げます。私はこの間、岩舟町と同じように住民投票により2つの合併協議会が併存した国内の事例を検証してみました。その結果多くの市町村が2つ目の合併協議会を住民投票以降2カ月以内に設置させるとともに、その後最後合併の相手先などを決める住民投票などを実施し、一方の合併協議会を2つ目の合併協議会設置日以降2カ月程度で廃止するというスピード決着を図っております。また先に述べましたが、2つの合併協議会が併存することによる、栃木市、佐野市及び岩舟町民への合併に対する不安感や不信感などを考慮した時、岩舟町の合併の方向性を早急に一本化することが合併の混乱を収めると同時に正常化に戻す最善の方策であると考えました。そこで、岩舟町では合併の方向性を一本化するため岩舟町の合併についての意思を問う住民投票を実施したいと考えております。なお、今回の住民投票を岩舟町の合併の意思を問う最終の場とするとともに最高得票数を確保した選択肢を最終の民意として尊重することとします。

住民投票の概要について申し上げます。住民投票は1. 栃木市と合併する。2. 佐野市と合併する。3. 合併しない。の3つの選択肢とし住民投票の結果、栃木市あるいは佐野市のいずれかが選択された場合には、今後当該市と合併協議をさせていただくこととします。なお、選択されなかった市には誠に申し訳ありませんが、岩舟町より合併協議会廃止の申入れをさせていただきます。また「合併しない」が選択された場合には今後岩舟町では単独でのまちづくりを目指すこととし、栃木市及び佐野市双方に合併協議会廃止の申入れをさせていただきたいと思っております。つきましては栃木市・岩舟町合併協議会の委員の皆様には私が考えます岩舟町の今後の合併協議の進め方についてご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。併せまして、岩舟町における合併の意思を問う住民投票の結果が出るまでの間、合併協議会の一時延期についてご理解、ご協力をお願い申し上げます。以上、私が今日この場で皆様に改めましてお願いを申し上げたいとそうように考えております。どうぞよろしくお願いをいたします。

◎鈴木会長	ただいま茂呂副会長のほうからご発言があり、お聞き取りをいただいた通りでございます。もう一度確認をさせていただきますが、茂呂副会長のほうからは、岩舟町においては再度住民投票を実施しその結果によって岩舟町が佐野、栃木いずれかとの合併を推進するのかそれを決めていきたい、あるいは岩舟町が自立で行くという選択がなされた場合にはいずれの市との合併協議についても廃止を申入れ岩舟町は自立で歩いていく方向を採用していきたいということでございます。 そのことと、それからもう一つ、こちらがこの合併協議会に関しては今日皆様にお諮りをしていくべきことになりますが、岩舟町がそのような方向をこれから目指して歩いていくに際して、この合併協議会をしばらく延期をお願いをしたいというのが2つ目のご提案でございます。 つきましては、当協議会の委員の皆様にはこの協議会をしばらく延期をしていく方向について、を中心にご意見を賜り、それについて当協議会としての今後の方針を決めていきたいと思っておりますので、今日はこの後、予定を変更いたしましてこのようなことについて皆様のご意見などをお聞きしつつ進めていきたいと思っておりますので、何卒ご協力をよろしくお願いをいたします。 それでは、これより委員の皆様にご自由にご発言を願いたいと思っております。なお、発言に際しましてはぜひ冷静に、そしてあまり長くならないようお願いをしたいということでございます。なお、着座のままで結構でございますのでよろしくお願いをいたします。なお、マイクが行くと思っておりますのでマイクが行くまでお待ちをいただきたいと思います。それではどうぞ皆様のほうからご意見、ご発言をお願いをいたします。 はい、では大川委員が最初早かったので大川委員からお願いします。
◎大川委員	栃木市の大川と申します。私たちはこの合併協議会、これから真剣に協議をしていこうという矢先の、町長さんからの今の申入れでございまして、戸惑っているところでございます。 それで今、住民投票、再度4度目になると思いますが、やるということで、その合併先を問うということと自立をしていくという3つの選択をなさるということを今申されました。私は岩舟町さんの意見は尊重しなければならないと思いますが、2つの合併協議会がある中で私はどちらかを選択するという2つ

	の方が今後の混乱を避ける方法ではないかと思います。というのはやはり、民意の過半数に達しなければ、住民の合意に果たしてなるのかどうかということが懸念されますし、今後の結果についてまた混乱を招くのではないか、そんな心配もしております。佐野と栃木の合併協議会を設置してこれまでやってきたわけでありますから、その合併協議会を尊重するという意味ではぜひ2つの選択でやられた方が、これはあくまでも内政干渉になったら困るのですけれども、住民のやはり今後のことを考えるとやっぱりそれが一番ふさわしい方法ではないかという私の意見です。
◎鈴木会長	はい、ありがとうございました。では、渡邊委員。
◎渡邊(仁)委員	岩舟町の渡邊でございます。今回の岩舟町長、合併協議会の副会長のただいまの提案に対しましてご意見を述べさせていただきます。 まずもって栃木市の関係者の方々には大変なご迷惑をおかけすることになりますので、その点についてお詫びを申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。 今回の栃木岩舟の合併協議会につきましては、1月23日の住民発議による住民投票による結果、栃木市の議会は全会一致で可決し、岩舟の議会は6対6で議長採決で否決というようなことだったのですが、住民投票、要するに直接の住民の請求によりまして71.9何%の高い投票率で、しかも佐野と栃木の合併協議会が新市の建設計画を残すのみの状態、すなわち佐野と岩舟の合併協議会の中身がほとんど決まって住民にそのことがよく理解された後の住民投票だったわけでございます。そういう意味も含めまして、岩舟住民の意思は1120票位の差だったと思うのですが、投票率が先程申しましたように72%近い投票率で過去のいずれのあれよりも一番高い投票率だったわけであります。理解の進んだ中の住民投票でありましたので、これはやっぱり最後までちゃんとやるべきではないかという考えを私は思うわけであります。 今の町長から再度の住民投票によりまして合併の相手先、あるいは合併しない3つの選択の中で住民投票をやるというような提案がございましたが、岩舟町民は前にアンケートによりまして9割の方が合併を望んでおります。その中で、高い投

	票率の中で1月23日に栃木市を、岩舟町は合併相手先とする合併協議会設置を望んだわけであります。また住民投票をやるにしても佐野と岩舟の合併協議会の様子は町の広報や説明会や臨時の広報等によりまして十分知らされております。ところが栃木と岩舟の合併協議会の中身についてはまだ全然、今日が初めての中身の協議をする予定の日でございましたので誰もわかっておりません。従いまして私も議員の一人ですが、前に対等合併で栃木、都賀、大平、藤岡の合併協議会の中身がありましたから、その中身によって大方こんなことかなという中身しかわかっておりません。それも細かいことは分かりません。今回栃木と岩舟は新しい合併協議会でございますから、全く中身の検討がされております。そういう中で佐野か、栃木か、ないしは合併しないか、そういうことの住民投票をするということは先程栃木市の大川議長のほうから言われた通り、なんかちょっとおかしい住民投票、平等性を欠く住民投票になるのではないかということで、私は住民投票をやるのであればこの栃木岩舟の合併協議会を少なくとも佐野と同程度の新市の建設計画の案ができるところまでやって、その後でもやるべきではないかと思っております。ただ経費とか時間とかが無駄になるし、迷惑の程度が大きくなるというような意味の説明をさっき副会長のほうからありましたが、これは岩舟町民が望んでいる結果ではないし、一つの経費の一環でもありますし、経費とか時間とかがだめだというのなら何も協議なんかあるわけないのですから、そんな意味も含めまして私はなんとかこの協議会がスムーズに最後まで行われることを望んでいるものでございます。以上です。
◎鈴木会長	はい、ありがとうございました。 では他に。はい、松本委員。
◎松本委員	協議会の委員として意見を述べさせていただきます。 栃木市は岩舟町より合併協議会の申入れがあったときには、市長さんをはじめ、執行部、議会は約2千万の予算をとろうとしてやってまいりました。しかしその経過の中で2回だけの予算がついたのは皆さんご承知の通りだと思います。栃木市議会はその後、今日2回目が終わった後も補正予算をとろうとしてきましたが、副会長である茂呂町長のほうから今日こういう意

	見を出された。私は経過を今までのを見たときに岩舟の中には栃木市は2回しか予算をとってくれないという報道もありましたけれども、栃木市はしっかりと予算を組みながら岩舟と一緒に合併に向けてしっかりやってきたということはここでもう一回述べたいと思ってます。このところの気持ちはこれからも変わらないと思います。どういう方向性になるかわかりませんが、栃木市としては岩舟さんとしっかりと合併協議会を開いて合併に向けて進めていきたい。予算がかかろうがかかるまいが、これは大事なことです。予算がかかってもやむを得ないと私は思うのですけれども、その辺を踏まえて副会長の茂呂町長さんにはいい判断をしていただきたいと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。
◎鈴木会長	はい、ありがとうございます。 他の委員の皆さんから、はい、それでは小倉委員。
◎小倉委員	岩舟の小倉です。今回茂呂町長が決断しました、合併先を問うための住民投票の実施に賛成します。現在の栃木市・岩舟町合併協議会を進めて佐野市との協議レベルまで内容を練り上げてから岩舟町民の選択にかけるとの意見がありました。しかし、佐野市・岩舟町合併協議会では約3年近くの期間と双方で9千数百万円の費用、そして多くの住民の方のエネルギーが費やされてきました。こうした莫大な時間、費用、人的エネルギーをはじめとして、栃木の皆さん、岩舟町民の負担とすることには疑問があります。従来、栃木市を中心とした一市五町による合併構想もあったわけです。具体的な新市計画には至らなかったものの、新生栃木市、西方町の合併市町村基本計画が参考となるものと考えます。ぜひ早期に岩舟町の町民自身での合併に関する最終選択の機会を強く要望いたします。以上です。
◎鈴木会長	はい、では高岩委員。
◎高岩委員	栃木市議会議員の高岩でございます。先程茂呂町長より合併協議会の延期の提案がございましたけれども、協議委員の一人として一言意見を述べさせていただきたいと思います。 今回の合併協議会は住民投票の結果、投票率が約72%、約六千人の岩舟町民の民意を受けまして、法に基づき設置がされ

	ました大変重要な合併協議会であることはご案内のとおりでございます。しかし、県の承認をいただきましてスタートした合併協議会では中身の議論も全くせずに、結果的には住民投票を選択されたようでありますけれども、1月の住民投票の結果を考える時に何のための住民投票だったのかと疑念を抱くのは私だけではないと思うわけでございます。 岩舟の合併につきましては、合併新法の下では県は生活圈ではなく、行政圏を考慮して栃木市を中心とする一市五町での枠組みが理想であるとの構想を打ち出していたわけであります。また、合併協議会の資料の表紙の地図を見ても岩舟町と栃木市が合併をすれば県南地域の理想的な地域構成にもなります。行政圏として深いつながりがありました藤岡町、大平町との連携強化もこれまで以上に図れることになります。住民投票で栃木市の選択をいただいた町民の方々のもとより、われわれ栃木市民といたしましても岩舟町との合併は大歓迎であるわけであります。現在佐野市か栃木市かで町内が大混乱しているわけでありますけれども、先程の茂呂町長の提案では三者択一で住民投票をして結果を決めるということでありますけれども、三者択一では焦点がぼけて、新たに町民に不安と戸惑いを与え混乱を与えることになると思うわけであります。内政干渉にもなるかもしれませんが、ぜひ二者択一とし住民にわかりやすい住民投票にして、結果が出たら町民の民意を尊重し勝つまでジャンケンをすることに終止符を打っていただき、岩舟町の将来の発展のためにも町全体で正常化に向けてご努力をいただくことを強く要望して、合併協議委員としての意見とさせていただきます。
◎鈴木会長	はい、ありがとうございます。 他にご意見は。はい、安藤委員からお願いいたします。
◎安藤委員	岩舟町の安藤です。まず栃木市の委員の皆様、温かなお言葉いろいろといただきましてありがとうございます。まちおこしの事業に携わっている者の一人としてご意見を述べさせていただきます。今回、ご存知の通りこのような騒動を様々なメディアで取り上げられているような状態で、特に、私インターネットをよく見るのですが、ネットのニュースとかでほとんどが悪い印象を与えるような記事を出されているような状態です。こ

	れは私たち町民一人一人の責任でもあり、何も否定はできないところなのですが、その中でも岩舟は小さな町ながら私たちは少しでも魅力のあるような町にしたいと、また岩舟という所を有名にしたいということで、まちおこしの事業のお手伝いをさせていただいています。その身にとって今回のような騒動で町が有名になるということはものすごく残念でありますし、なんとかしなければならぬというように考えております。こういった混乱を一刻も早く納めるためにもこのタイミングでの住民投票に賛成をさせていただきたいと思います。その結果に従って、町民一体となって新たなまちづくりに臨んでいければと考えております。栃木市の皆さんには大変ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。以上です。
◎鈴木会長	はい、ありがとうございます。 他の委員の皆さんでご発言はありますでしょうか。はい恩田委員さんお願いします。
◎恩田委員	岩舟町の恩田です。よろしくお願いいたします。 岩舟町の混乱はもうたくさんというところまで来ています。直近の民意が大変重視されていますが、今までその前の住民投票の重みを受け止めてほしいというところもあります。直近の民意、直近の民意と言ってますが、本当にその前の住民投票で一生懸命やったところがありますので、そこのところを強く受け止めてほしいと思います。 今いろいろと町の会議、イベント等出ておりますが、賛成派とか反対派とかみたいになって、一人でもいるとあの人そうかしらとなってお話もしないような状態になっております。人間関係にぎくしゃくしているところがあります。今後栃木市と合併協議会を進めて行っても、最終的には佐野市、栃木市の住民投票を実施することになるとすれば、本当にここでもうきちっと決めていただきたいということを思っております。それまでの時間と費用は本当に大変なことだと思って、税金のこともあり、一住民として本当にこのところで決めていただきたいと思いますので副会長の茂呂町長にぜひに賛成したいと私も思います。以上です。
◎鈴木会長	はい、他にいかがでしょうか。

◎戸谷委員	じゃあ戸谷委員。 岩舟町の戸谷でございます。先程から本日の副会長の提案に対しまして栃木さんの委員さん方には大変ご迷惑をおかけしておりまして大変申し訳なく思っております。 先程から何人かの委員の皆さんの発言をお聞きしました。特に岩舟の渡邊委員の発言の内容にも当然そういう考え方を持っている人も岩舟町に大勢いることも私も知っております。しかし、一方においては今までの合併に対する経過から合併はもう佐野に決まっているんじゃないのという人さえ岩舟町には存在しておりますのも事実であります。先の住民投票の結果が従来の何度かの住民の意思とは違った結果が出ました。それは当然尊重しなければならないと私自身も思っておりますし、事実でもございます。しかし、先程もある委員さんからも出ましたけれども、岩舟町の多くの住民はこの混乱はどう收拾するのだろうということで非常に不安と不信を抱いており、一刻も早く政治空白を合併論議から正常化したいという意見も多くの住民が持っております。このまま続きますとしばらくの間この延長線でいくと思えますし、やはり栃木さん、佐野さん、どこかでどちらかの市町に迷惑をかけることにもつながりますので、やはり傷は軽いうちに結論を出していただいて、そして決まったことの、これは栃木になるか佐野になるか自立になるかは誰にもわかりません。でも決まったことに関しては最大限尊重し、もうそれで行くのだということでやっていく意思でございますので、私もこれ以上岩舟町の混沌とした合併問題を続けることなく、終止符を打っていただいて新たな道を模索して全員で同じ方向に行けるのがこれからの町政にとってもいいことだと思いますので私は今回の副会長の提案を賛同したいと思います。なお、細かくなりますが一部には私たちが佐野と同等の協議を進めることはある意味では特別職の皆さんの延命策ではないかという批判も直に私たちも受けております。そういうことも考えますとやはり岩舟町住民の意思に沿った決断を早急にさせていただいて正常な形での町政運営に持っていければ一番いいのかなというようにも考えております。以上が私の意見とさせていただきます。
◎鈴木市長	はい、ありがとうございます。

◎大島委員	では、大島委員。 岩舟の大島でございます。 私たち岩舟町民がこと合併に関しまして、平成15年以来だと思っておりますが、ここにおいでの栃木市長さんも当時加わっていたかと思っておりますが、大岩藤の合併問題が浮上して以来、8年以上この合併に関しては議論が続けられているかと思っております。そういった中で、今回栃木さんとの協議会を進めておりますが、我々町民にとっていずれにいたしましてもこの合併に関してこれ以上、右にするのか、左にするのか、真ん中で行くのかかわらないような状況が続けること自体、また協議会が2つ存在していること、そういう異常な状態を継続されること自体が不自然かなというように私自身考えております。そういう意味で岩舟町民の方はいずれにいたしましても、町民の総意である方向付けを一日も早く結論付けたいというふうに考えている方が多いというふうに考えております。そういう意味で、直接民主主義の最たるものだというふうに認識しておりますが、住民投票による町民のそういう意思を最終的に結論付けるための、先程申し上げた副会長からの提案について私としても賛同していきたいというふうに思いますし、いずれにしてもこの異常状態をスピーディーな時間をもって結論付けなければならないとは思っておりますので、そういう意味では方策の最たるものかなと思っております。以上です。
◎鈴木会長	はい、ありがとうございます。 他に委員の皆さんから、はい岩下委員。
◎岩下委員	私、議会やなんかの詳しい話は分かりませんが、岩舟さんから、直近の住民投票で栃木へということで、ああこれはよかったなと、新生栃木市としては大歓迎だよ、いろんな意味で。昔から、佐野さんとのご縁もあるでしょうけれども、栃木とご縁も深いんだと。第1回の協議会が開かれてこれから進んで行くのかなと全員が大歓迎で。東武沿線なんかも見ますと藤岡から始まって藤岡、静和、大平下、栃木、都賀というような順序で並んでますし、色んな意味で栃木のほうは、将来地型の面から言ってもまた、今の現状からしますと新生栃木市といっで一市三町そして、その上に西方が加わりました。そしてこの

	機会に岩舟さんが民意でそこまで来たということで、諸手で賛成すると、そういうことで。今行政の皆さんが詳しく知っておりますけれども、中立的な独立というのはいかがなものかなと。これ言いすぎますと内政干渉になりますけれども、岩舟の住民が栃木か佐野かはっきりした方がいいですよ。二者選択を願うところでございます。ぜひそんなことで、もしおやりになるのだったらそちらの方を選んで、それではっきりしてきちんとした方がいいのではないかと、こんなふうに私は思います。以上です。
◎鈴木会長	はい、ありがとうございます。 他に委員の皆さんからご意見等ございますか。はい広瀬委員から。
◎広瀬委員	岩舟の広瀬です。 岩下委員さんのお話の中で、今日は前回の住民投票が終わった時に新聞社に投書した方がいらっしゃって、的を射たお話だったのです。実はいろいろありますけれども、町内には佐野市との合併を願う人、栃木市との合併を願う人、合併を望まない人の三者がいる。一者が進もうとすれば、他の二者は協力して阻止する。つまりいつまでたっても話し合いはまとまらない。この町であと何回住民投票が繰り返されるのだろうかという、そういう投書がございまして、なかなか的を射ているな、これが実際なのかなというように私は思っていました。今回、前回一回協議をやらせていただいて、最後の合併協議会で新市計画がちゃんと出たらその時にまた岩舟町で決めることだろうと言うことでした。私は三年間かけて佐野との成就一歩手前で今停滞しているわけですが、そのときにこのまま栃木と合併協議を進めたときに最終的に岩舟町が決めるということなので、このまま続けて万が一また同じような轍を踏むことがないだろうかというその心配が一番です。ですからこの際、副会長が提案した通り、早く結末をきちんとして、この住民投票の大事なことはこのように多くの皆様の中で議論された住民投票というのはなかなかしたことがありません。ですからその民意をきちんと尊重するという意思決定がされるのではないかと、その意思決定がされなかったためにいろんな混乱を招いたということがあると思うのです。ですから皆さんとこういうところの中で意見を出させていただいて、認めていただきまして、栃木市

	の皆さんには大変ご迷惑をおかけしますが、岩舟町の民意が出たならばこれを本当に尊重してしっかりやっていくというものを確立してやるのが一番だと思いますので、しばらくの間時間をいただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。
◎鈴木会長	はい、梅澤委員
◎梅澤委員	栃木市の梅澤です。 私は藤岡町に住んでいるわけなのですが、栃木市、そして市議会、特に藤岡町の人たちは岩舟町との合併を非常に望んでおります。地形的に見てもちょうど真ん中にある藤岡町は飛び地のような状態にありますので。50号線がありまして、インターチェンジから西はすごい発展性があるのですが、東は全然発展性がないですから、できれば合併して一緒になってあの地域の発展を考えていきたいということで、住民投票が終わって栃木というのが多かったものですから非常に私は喜びました。しかしながら今まで佐野市との合併のことで一生懸命やってこられた方々、またあの時千票という差が付きましてけれども、やっぱりここではどっちつかずの状況があるのかな、また岩舟町のことを考えたときに、私は栃木市ですけど、やっぱり副会長の言われたように一度決断の意味で住民投票するべきではないのかなと私個人としては思います。そういうことでよろしくお願いします。
◎鈴木会長	はい。他に委員の皆さんからありますか。 はい。柴田委員さん。 ちょっとお待ちください。外の皆さんに音声が届いてないぞということが言われているそうなので、いまちょっとマイクを。 (マイク交換) はい、じゃあお願いします。
◎柴田委員	栃木市の柴田でございます。 岩舟町の委員さんの方のご意見をお聞きしまして、また副会長からの申し入れ。個人的にはこの協議会が一時中断をする、延期になる、一時ではあれ延期になることの申し入れについては個人的には残念に思っております。我々栃木市側と言いますか、

特に私は大平町の住人でございまして岩舟町さんとは様々な点で長い歴史、地域的な歴史もありますし、個人的な交流もありますし、大変今度の協議会設立については内心喜んでいたのですけれども、その点については残念に思います。ただ、岩舟さんの諸々の事情があるもの承知をしているつもりでございします。先程梅澤さんがお話しをしたように、大平、藤岡、岩舟は運命共同体でして、長年きておりましたので、そういう点からできればこのまま進められればいいなと思っておりました。

合併については、それぞれ思い起こしてみると地域の住民から湧き上がるようなことで進められたというよりは現実には国の財政上の問題から、将来の問題から地域にとっては外圧のような形で進められてその大きな渦が出てきたということのほうで冷静に考えると当たっているかなと思います。ただ、その渦の中に肝心の住民が巻き込まれまして、いつになっても抜け出せない。しかも、親しい友人同士、あるいは、血を分けた人間同士が争い、あるいは傷を付け合うようなことに巻き込まれてしまう。どの町でも決して平穏無事に合併に漕ぎつけて来たわけではございません。中には大変熾烈な大変苦しい苦労あるいは悩みを抱えながら実現してきた。これは岩舟町だけではなく、我々もそうです。しかし、そのことによって、今申し上げたように、いつまでたっても傷をお互いに新しくしながら過ごすことは一日も早く決着を付けたいということで住民投票、4度目の、を決めたということの背景は認めざるを得ないし、また理解するところもございします。ただ一つお願いしたいのはこの合併協議会の委員になられている者、茂呂合併協議会副会長はじめ、広瀬議長はじめ議会の4名の方たち、そしてまた各団体、あるいは分野から代表として参加されている岩舟町の委員の方たちに、勝手な要望ではございしますけれども、本当に言葉だけではなくて、この争い、あるいは傷を付け合うことを少しでも沈静化させたりあるいは、これ以上悪化させないために今度こそ本当に自分たちが血を流すようなつもりで努力していただければ、隣に住む者としていつもそのように考えております。そして住民投票が行われるというのはもう決定的なようでございしますから、先程の要望で二者択一のほうが私もいいとは思いますがすけれども、これは最終的には岩舟町の議会も議決をして進めることですからそれ以上のことは申し上げられませんが、できればこの協議会がやがてまた再開されることを心から

	祈りたいと思います。それだけです。
◎鈴木会長	外の皆さんから、やはりマイクが聞こえない、音が聞こえないということですので、調子のいいマイクで、マイク一本でやってくれとのことですので。ではこれ、あちこち行きますので、すいません。 では、大川委員から。
◎大川委員	だいぶ皆さんから意見が出て平行線をたどっていると思うのですが、今日の会議の進め方としてこの申し出をどうするかということのをこの場で決定しなければならないということですのでよろしいのでしょうか。
◎鈴木会長	茂呂副会長からの申し出でありますので、つまり結論的にはこの協議会をこのあとどうするかということについてのお申し出がございますから最終的にはそのことに絞ってどうするかを今日はお諮りをしていかなければならないと思っておりますので、ご理解をいただきたいと思います。
◎大川委員	我々としても初めての正式な申し出ということで判断をしなければならぬので議論が出尽くしたところで暫時休憩でお時間をとっていただければと思います。
◎鈴木会長	もうお一方いらっしゃいました？ じゃあ休憩をとりますか。休憩をとって。 では、お二方からご意見を伺った時点で少し休憩をさせていただきます。じゃあ渡邊委員から。そのあと臼井委員ということをお願いします。
◎渡邊(正)委員	私は岩舟の渡邊でございます。 私は茂呂町長と思いは一緒にございます。栃木の皆さん方には大変なご迷惑をかけてしまうという思いはありますけれども、振り返ってみますと、まず岩舟は大岩藤合併をはじめ、一市五町、これも離脱したわけです。そしてその次に佐野との合併で住民投票で決定してきたわけです。そして多くの時間と費用等を費やしてきたわけでございます。最終的の直近の民意ということで住民投票はあったわけでございますが、佐野市の皆

	さん方の思いも組んでいただきたいと私は思っております。3年間という期間、本当に岩舟は混乱をしてきているわけでございます。これから最終的に栃木と岩舟、佐野と岩舟とこのどちらも最終に行った時にもう一度の決断をするということは時間的、または町民の皆様も早期の合併を望んでいるというように私は思っております。ですから早いうちに住民投票を行って、住民のすっきりした思いでこれから過ごしていただきたいと思っております。どうか皆様方のご理解をいただきたいと思います。よろしくお願いします。
◎鈴木会長	では、臼井委員お願いします。
◎臼井委員	栃木の臼井でございます。 ここで2回目の協議会が中断して、次の結果まで待つということになりますと栃木市合併の人にとりましては、栃木市があきらめたのではないかという誤解をされるということは大変残念でございますので、私は協議会は続けてもらいたいと思っております。一市五町で改めて栃木市で合併ということにつきまして決まったことにつきましては栃木市自治会連合会挙げまして大賛成でございますので、今後ともよろしくお願いしたいと思います。以上です。
◎鈴木会長	それでは、提案のとおりここで暫時休憩とさせていただきます。今こちらの時計で10時55分でございますので、10分でもよろしいですか。はい、では11時5分まで休憩とさせていただきます。よろしくどうぞお願いいたします。 (休憩)
◎鈴木会長	それでは、定刻となりましたので協議を再開させていただきます。それでは引き続き委員の皆様のなかでご発言等がございましたらお願いをしたいと思います。 はい、大川委員。
◎大川委員	大事な合併協議会の結論を出さなければならないということで、慎重に我々も対応をしたいと思っております。そういった中で、今栃木の委員のほうでこれを受けて、じゃあ申入れをど

	のように扱うかという審議をさせていただきました。この申し入れにつきましては岩舟さんの意思を尊重するという点で申入れを受けていきたいと思います。しかし、我々法定協議会を設置している側からすれば、やはり佐野さん、栃木の法定協議会を設置しているわけでありますからそれをどちらかにするかということを我々法定協の委員として強く望みたいと思います。そしてその結果につきましては議会でもぜひ尊重していただきたい、そのことを申し入れましてこれには賛成をさせていただきます。
◎鈴木会長	はい、ありがとうございます。 他にご意見はございますか。はい、渡邊委員
◎渡邊(仁)委員	はい、岩舟の渡邊でございます。 今栃木市の議長さんからご理解あるご発言がございました。ただ私、そのこととちょっと違うのですが合併協議会は会議の進め方に決まりがあるかと思うのですがそれについてもそのことについて関わり合いはどんなふうになるのでしょうか。そういうことでもいいのでしょうかね。3分の2条項とか多数決とかいろいろ決定の仕方があるわけですが、そのことについての関わり合いはどんなことになるのでしょうか。
◎鈴木会長	はい、ただいまのご質問についてはですね、休憩時間の間に他の方からも同じようなお尋ねがありました。今日は当初予定されていた議案を審議をする代わりに、追加で今皆様からご意見を伺っている項目を議題として追加をしてそれを審議いただいているわけでございますので、これは審議事項になります。協議会をこのあとどのようにしていくかという極めて重要な項目を今皆様にお諮りをしているわけでありますから、これは当然皆様の最終的には意見を伺うことになります。このことについてははっきりさせておきたいと思います。会長の英断でとか会長の判断でというご意見もありましたが、そういうわけにはいきません、これは。ですから皆様も慎重にお考えをいただいてこのことについて、協議会をどうするかについてのご判断を最終的にはいただきます。そのことについて大川委員からは協議会の運営を副会長の提案通り、しばらく延期ということでの了解をしたいということは今、意見としてあったわけございま

◎大島委員	すのでそれも含め、皆様から協議会を延期していくかどうかについてお諮りをするようになります。 では、それも踏まえていただいて、さらにご意見があれば伺いたいと思います。では、大島委員。
	岩舟の大島です。 先程、栃木市さんのほうから私たちの申入れといいますか、副会長の申入れに対してのご理解をいただいているというふうに解釈しておりますが、そういうご発言に対して心から敬意を表したいというふうに思いますし、先程も私申し上げましたように、一日も早く岩舟町民としての最終的な方向性を結論付けなければならないというふうに我々考えております。そういう意味で栃木市さんには大変ご迷惑かなと思いますが、一旦この協議会を延期することによって我々の意思を、方向性を決定するための時間をいただきたいというふうに思います。それが栃木市さんに対しましても、また佐野市さんに対しましても我々が最低限の儀礼かなと私考えております。そういう意味で副会長提案の住民投票の内容については岩舟町が決める問題というふうにご理解をいただいて、そのための方法は私共岩舟町民にご一任をいただく形をとらせていただいて一日も早い岩舟町民としての方向付けをとるためのお時間をいただければというふうに私考えております。以上です。
◎鈴木会長	はい、では松本委員。
◎松本委員	栃木市の委員の先程の意見の中で、岩舟さんのことの尊重はしていきたいのですが、協議会については条件付きで二者択一、佐野と栃木の合併どちらかを判断してもらいたい。それを条件に栃木の委員は延期をしてもよろしいということで判断しました。だから佐野か栃木かを選んでもらわないと非常に混乱がまた起きるのかなとそれを皆さんの要望が全会一致ですからその辺もよろしくお願いしたいと思います。
◎鈴木会長	今の松本委員のご発言に関して少し会長として言わせていただきますが、条件を付けた賛否というのはありませんので、それについてはやはりこの協議会をしばらく延期をしていくのか、あるいは岩舟町さんのほうがこれから進めようとされてい

	る住民投票、これについてこの協議会がいいとか悪いとか、これは言う立場ではございませんから。今あくまで皆さんにご意見を伺っているのは、ご意見としてそれは伺っているわけでありまして、協議会の権限として住民投票をおやりになることにいいとか悪いとか言う機関ではございません。したがって、そのことについての条件をつけるとか、そういうことはちょっといかなものかと思いますので、ぜひとも委員の皆様におかれましてはそうした岩舟町の事情を考慮したときにこの協議会を少し休んでみることにについてどうされるかということに絞ってご判断をいただきたいと思います。 では、それを踏まえてさらに何かございましたら、はい、大川委員。
◎大川委員	誤解を受けると困りますので申し添えますけれども、やはり岩舟さんがどういう選択をされるのかということは岩舟さんが決定することですので、我々がどうこうは言えないと思います。それは十分に承知しておりますが、やはり法定協議会を設置している側とすれば、ぜひそういう判断をしていただきたいという申入れをさせていただいたということでご理解をいただきたいと思います。以上でございます。
◎鈴木会長	はい、そういうご趣旨であれば、これはぜひとも皆さんにそういう要望、希望があるのだということでお聞き取りをいただければと思います。ありがとうございます。 他にはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。 はい、ではご意見等もないようですので、ここで私のほうから皆様に説明、補足をさせていただいた上で、皆様のご意見を伺うこととなります。何度か申し上げました通り、この合併協議会は岩舟町と栃木市との合併協議を行っていくわけでありまして。その場にあつて今日茂呂副会長のほうから岩舟町の事情としてもう一度住民投票を実施することによって民意を確認をしていきたい。ついてはその間はこの合併協議会を開いていただくとしてもそこで議論をしていくことはできないという趣旨も含まれていると思います。つきましてはその間休んでいただくということをお願いをしたい、お諮りをしたいというのが申し出の趣旨でございます。したがって当合併協議会としては、この合併協議会の次の開催については追って正副会長・幹事

会等で日程を決めて皆様にお諮りをするということで、次回の日にちについては今日は定めずにこれにて協議会を終了するというのでよろしいのか、それともあくまで次回についても日にちを決めるかあるいは、後日でもそれはいいのかわかりませんが、いずれにしても今後とも合併協議会の開催を日にちを決めてやっていくべきだということにするのか、このことを皆様にお諮りをしたいというふうに思います。なお、岩舟町さんの行おうとしている住民投票に対して、委員の皆さんから様々なご意見が出ました。最後には大川委員のほうからもぜひ住民投票を実施されるのであればその際、選択肢については考えていただきたいということは申入れをされております。これは住民投票を岩舟町さんが実施していく際の意見・要望・希望として申し上げるということでございましたのでこれについてはそのように受け止めていただきたいと思います。また皆様が住民投票の実施あるいは岩舟町さんのお立場などについて様々な意見が出されたことについては意見ということで皆様の心に受け止めていただけたらと思います。あくまでこの協議会は協議会を次回は追って指定ということにするのか否かということについて皆様からご意見を賜るということでご理解をいただきたいと思います。ではその賛否の問い方についてどうするかということについてですが、あまり好きな方法ではございませんが、重要なことですので、皆様に挙手にてご判断をいただきたいと思います。事務局は大丈夫ですね。ではそのような方法で皆様の意見を伺うということでよろしいでしょうか。

(了承の声あり)

はい、では改めて申し上げます。それでは栃木市・岩舟町合併協議会の次回開催日については追って指定をさせていただくまで延期とすることについて賛成の方の挙手をお願いいたします。

はい、少しお待ちください。ありがとうございました。

よろしいですね。

ではただいまの皆様の賛否を確認させていただいた結果、全員の方が挙手ということでございましたので、当合併協議会は次回追って指定をさせていただくまで、延期とさせていただきます。では、茂呂副会長のほうから何かありましたら。

◎茂呂副会長	本日は本当に貴重な時間、その中で貴重なご意見等いただきまして本当にありがとうございます。私の申入れというようなことの中で、それぞれの皆様のご意見等があるということをお今日また改めて確認をさせていただきました。そういうことの中でご意見等を賜りましたこと本当にありがとうございます。そういうことの中で今後は岩舟町の最終の民意ということの中で粛々と進めさせていただきます。そしてまたその旨を皆様にご報告をさせていただきたい、そのように思います。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。
◎鈴木会長	それでは、本日の最後になりますが、私も合併協議会会長という立場とは別に栃木市長という立場もでございますので、最後に栃木市長という立場で一言言わせていただきます。 この栃木市・岩舟町法定合併協議会が設置されるに至った経過についてはご案内の通り、岩舟町の町民の皆様の総意によりまして設置が決定され、本日第2回目を迎えている訳でございます。その2回目の時にただいま皆様のご意見を伺ったような結果となって次回は少し延期となるわけであります。 ところで、岩舟町内で配布をされているチラシなどには栃木市は当合併協議会の予算を2回分しか組んでない、これは栃木市がやる気がない、そのなによりの証左だという趣旨のものを拝見しております。これは大いなる誤解であります。今申し上げましたとおり、岩舟町の皆さんの総意で設置が決定された当合併協議会に臨むにあたって岩舟町様のお気持ちを考えると戸惑いやあるいは不満などがお有りなのかもしれない。これから先この合併協議会をどのようにして円滑にかつ実のある協議を行っていくかについて正直栃木市側としては少し不安を持っていたことは事実でございます。その結果かどうかは別にして今回こうしてしばらく協議会が延期されるということになったわけでございますが、栃木市はこれから先も岩舟町との合併を心から望んでおります。従いまして来るべき延期後の再開される合併協議会にあってぜひとも引き続き合併の協議ができますように心から栃木市は望んでいることを付け加えさせていただきます。そして栃木市長として一言だけ挨拶をさせていただきました。それでは合併協議会の会長の立場にもどります。 本日は冒頭から皆様に大変ご熱心に、そして真剣にお互いの

◎ 小 保 方 事 務 局 長	立場でこういう言い方をしては失礼ですが、岩舟町さんのこれからのことを本当に誰もが心配をして皆さんの意見を言っていたと思います。ぜひとも今日の皆様のご意見を踏まえて岩舟町さんにはこれからの進むべき道を町民の皆様とともに決定をしていただきたい。それまで合併協議会をしばらくお休みということでよろしく願いを申し上げます。私のほうからの進行はこれにて終了させていただきます。大変お疲れ様でございました。 ただいまの時間は、１１時２７分でございます。 この時間を会議閉会時刻と定めまして、第２回栃木市・岩舟町合併協議会を閉会いたします。 長時間にわたり、ご協議をいただきありがとうございました。
----------------------------	--